



皆様お揃いで新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年も子ども達をはじめご家族の皆さんが元気で過ごされるようにお祈りしています。

お正月は家でゆっくり過ごされた方もいらっしゃるかと、お出かけされた方もいらっしゃるかと思います。私は先日、東山動物園にでかけました。冬だから人も少ないだろうと思っていましたが、子ども連れの家族で賑わっていました。そんな家族の様子を見ているとカバを見つけた1歳くらいの男の子が「ば！」と喜んでいる隣で「カバって言うんだよ、大きいね」と優しく声をかけるお父さんがいたり、眠ってしまった子どもを抱っこして歩くお母さん、手作りのお弁当を囲んで楽しそうに会話をする家族がいました。休みの日に子どもの為に出かけられる姿を見て、世の中のお父さんお母さん達は本当にすごいなと尊敬しました。動物の学習遊びをした時には「ぞうは水の中に入るんだよ」「ゴリラは家族が沢山いるんだよ」と教えてくれる姿があったのも、休日に経験したことが園での会話や遊びに出ているんだなということがよく分かり、その裏には保護者の方の温かい関わりがあることを実感しました。家族に囲まれ、楽しい時間を過ごしたお正月、子ども達がどんな話をしてくれるのか楽しみです。今年度も残すところ3ヵ月となりました。今年も沢山遊んで、沢山笑って、友達や保育教諭と想いを分かち合いながら、充実した毎日を過ごしていきたいと思ひます。

<文責：秦>

<子どもが安心して元気に生活できるように保育教諭が子どもにすること>

- * 正月明けで生活が不規則になり、登園を渋ったり、なかなか遊びに入れなかったりした時は、安心して一日を過ごせるように声を掛けたり、楽しい遊びを提案します。
- * 感染症の流行する時期になるので、室内の環境・保健に留意し、快適に生活できるように配慮します。また、衣服の調節や手洗い・うがいを丁寧に行えるように声を掛けていきます。
- * 正月飾りを見たり、正月遊びを経験したりしながら、正月の様子を楽しめるようにします。
- * 積極的に戸外に出て、体をたくさん動かす遊びに誘い、体が温まる心地よさやみんなで遊ぶ楽しさを伝えていきます。
- * お話や物語に親しみが持てるように絵本の読み聞かせをします。また、劇遊びやごっこ遊びの中で子どものイメージが表現出来るような環境を用意します。
- * 自分の気持ちを言葉で伝えようとしますが、やりとりが上手くいかないこともあるので、そういう時は保育教諭が気持ちを受け止め代弁し、どういう言葉を使うと良いのかを具体的に伝えていきます。

<子どもの遊びや教育的活動>



- * 登園したら防寒着の着脱や片づけを自分でします。
- * かるたやこまなどの正月遊びに興味を持ち、保育教諭や友達と一緒に楽しめます。
- * 吐く息の白さや空気の冷たさを感じたり、霜柱や氷・雪等の冬の自然現象を見たり触れたりして興味・関心を持ちます。
- * 雪が降ったら雪合戦や雪だるま等を作って雪遊びを楽しみます。
- * 寒くても戸外に出て鬼ごっこやボール遊び等、体を動かして遊びます。
- * 好きな絵本や紙芝居を繰り返し見たり、聞いたりしてお話に出てくる役になって、ごっこ遊びや表現遊びを楽しみます。
- * 友達とのトラブルを通して相手の気持ちに気付いたり、上手く伝えられない時には保育教諭に仲立ちしてもらいながら、言葉で気持ちを伝えます。

<お願いします>

積雪のある日には大いに雪遊びをしたいと思ひます。手袋や上着に必ず記名をして持たせて下さい。また、着替え一式も持たせて頂くようお願いいたします。





こんなこと、がんばってるもん



寒くなり、鼻水が出ている子が増えてきました。遊びに夢中になっていると鼻水が出たまま過ごしていたり、服の袖で鼻水を拭こうとする子もいます。保育教諭が「鼻水が出ているよ。きれいにしようね」と拭いてあげたり、自分で気づいてきれいに拭けるように声をかけています。鼻を片方ずつ押さえながらかむことを伝えたり、保育教諭が鼻を押さえあげ、一緒に鼻をかむ感覚をつかんだり、きれいにすると気持ちがよくなることを伝えています。

じょうずに鼻をかみましょう

まず、口から息を吸い込みます。ティッシュを広げ、鼻全体を包むように押さえましょう。

片方の鼻の穴を押さえ、ゆっくり少しずつつかみます。強くかみ過ぎないように気を付けましょう。

鼻をつまむように拭き取り、ティッシュはゴミ箱に捨てましょう。

鼻水の色をしてみよう

透明
気温の変化によるものやかぜの初期症状の場合に見られます。鼻水は垂れたままにしていると肌荒れの原因になるので注意が必要です。

黄色から緑色
細菌に感染している可能性があり、緑色に近いほど症状が悪いので早めに病院へ行きましょう。また、透明の鼻水に比べてドロツとしているため、鼻の奥で溜まってしまふことがあります。その時は加湿などを行い、鼻水を出しやすくしましょう。

<★みんなでジャンプ！>

これまで様々な道具を使った毎日体操をしてきました。バンダナやリボンを床に置いて踏まないように両足で飛び越えたり、またいでジャンプをしたりと、やっていくうちに少しずつバランスよく跳べるようになってきました。そんな中、戸外遊びで縄跳びを繋げて揺らし「へびに食べられないように跳べるかな」と遊びを提案すると、縄をよく見て飛び越える子ども達。少し大きく揺らしてみると腕を大きく振って踏まないように跳ぶ子もいました。毎日体操で行っていることが遊びの中でも活かされているようです。これからも、毎日体操を通して身体の動かし方を知ったり遊びが広がっていったらいいなと思っています。

